

## 路上でよいコミュニケーションをとれることが、よいドライバーの条件



混雑した交差点などを渡るとき、知らず知らずに他の歩行者にぶつからないよう歩いていると思う。それって実はとても重要なこと。相手が車でも同じこと。ぶつかると大きな事故になる可能性も高いから、路上でのコミュニケーションって大事なんだよ。

## まとめクイズ

Yes、Noのどちらかを選んでください

**Q1.** 自分は下を向いたり、よそ見しながら歩いても、他の歩行者、自転車、四輪車などが自分を避けて通ってくれるからよい。

Yes  No

**Q2.** 信号機のない交差点を歩いて横断しようとしていると、やや遅めのスピードで車が近づいてくることが見えた。ドライバーが携帯電話らしいものを耳にあてているので、その車が通り過ぎるのを待ってから渡ったほうがいい。

Yes  No

**Q3.** 雨の日に歩道を歩いていると前方から傘さし自転車がやって来た。自分を見ていないかもしれないと思い、脇へよけた。

Yes  No

**Q4.** 友達と並んで歩くとき、後ろから急いでる人や自転車が来たら、いつでも道を開けられるように、周囲に気を配って歩く。

Yes  No



→解答は次ページに!



## まとめクイズの解答と解説

### Q1. No

相手もあなたを見ていないかもしれません。コミュニケーションはお互いでしてこそそのものです。

### Q2. Yes

ドライバーがあなたを見ていれば止まってくれるでしょうが、運転中に携帯電話に注意がいつていると、横断者に気がつかない場合があります。(運転中の携帯電話使用は道路交通法違反。ルールを守らないドライバーは危険なドライバーと考えましょう)

### Q3. Yes

さしている傘がじゃまして、あなたに気づいていない可能性が高いので、自分から衝突を避けるためわきによけたのは正しい対応です。

### Q4. Yes

道幅にもよりますが、狭い道ではたとえ2人でも周りの人にとっては迷惑なものです。邪魔にならないよう気を配りましょう。



携帯電話をかけていると、周りの人とよいコミュニケーションがとれなくなります。

## コラム 1

### 四輪車の言葉

四輪車のドライバーは、歩行者や他の四輪車に情報を発信しています。たとえば、

- ・ ホーンを鳴らすのは、見通しの悪い場所では警告
- ・ ウィンカーの点滅は右左折や左右への進路変更をするという意思表示
- ・ 走行中の四輪車のハザードランプ点滅は「停止します」または「ありがとう」
- ・ ブレーキランプはブレーキペダルを踏むと点灯する。減速か停止の警告

を意味しています。



## ●コミュニケーションを取り合おう

# 相手の情報を自分から積極的にとり、事故を防ごう。

### 歩くことと運転することの共通点

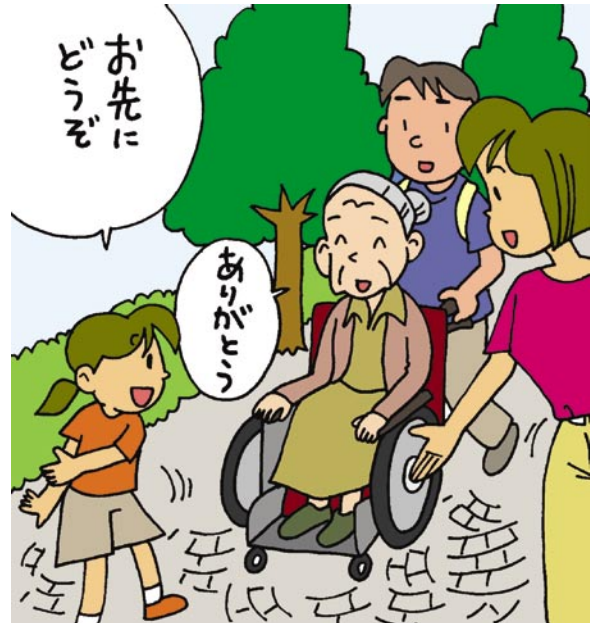
社会は、言葉や身体などを使ってコミュニケーションを取り合うことで円滑さと安全が保たれています。たとえば混んだ電車に乗っていて降りる駅が近づいてきたとき、「降ります」と声をかけると、横に寄ってくれます。黙って乗客を押ししたり、かき分けたりするとトラブルのもとになります。

交通の場面でも、歩行者同士、歩行者や自転車利用者と車のドライバー、車のドライバー同士の間のコミュニケーションが不十分だと、事故になる可能性が高くなります。

たとえ相手にコミュニケーションを積極的にとる意思がない場合（携帯電話でメールを打っている、マンガを読んでいるなど）でも、相手の行動を見て、その人がどういう人かを判断し、次に何をしようか、それはどんな変化を、あなたとその人の間に起こすか、注意して、情報をとり続ける必要があります。

### コミュニケーション不足がもたらす問題

歩行者同士の衝突は、めったにケガになりませんが、相手が高齢の方だと大ケガになることがあります。



コミュニケーションを大切に

歩行者と車の衝突は当然大きな人身事故になります。右左折の合図を出さないで曲がってくる四輪車や、左右の安全（歩行者や自転車の存在）を確かめない四輪車がいるということを知り、歩行者側は積極的、自発的に情報をとるようにしましょう。

## コラム 2

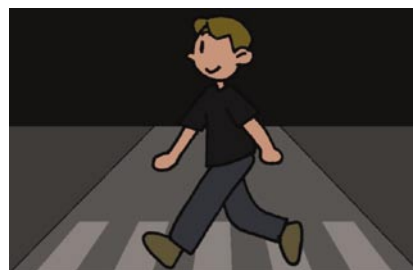
### 歩行者や自転車の言葉

夜間、ドライバーはヘッドライトや道路照明などのあかりを頼りに情報をとって走っています。

歩行者や自転車乗用者は、自分がいることを知らせるために、

- ・白っぽい服装
- ・反射材
- ・(自転車なら)さらにライトをつける

などして、自ら情報発信しましょう。



服の色によって見え方が変わります



新聞や本などの資料、インターネットなどを使って、調べて考えてみましょう

• 家族や知り合いの車に同乗する際、ドライバーが  
どんなふう to 他のドライバーや歩行者などとコミュニ  
ケーションをとっているか、観察してみましょう。



-----  
-----  
-----

• あなたは歩行中や自転車乗車中、人とのコミュニケー  
ションの取り方が上手なほうだと思いますか？  
もしそう思わない場合、それはなぜか考えてみ  
ましょう。



-----  
-----  
-----

• 歩行者として、自転車運転者として、どう情報発信  
をしていますか？



-----  
-----  
-----

• 自転車のライトはきちんとつくか、点検しておき  
ましょう。



## MESSAGE

### コミュニケーションの基本は挨拶

蓮花一己 帝塚山大学教授

笑顔は万国共通です。挨拶は国によってさまざまです。笑顔と挨拶で、相手に対して敵意がないことを示しているのです。日本のお辞儀は自分の首をさらして、どうぞご自由に、と差し出すことですね。挨拶をすることで、その後の人間関係をスムーズにします。

挨拶の基本は相手の目を見ることです。アイコンタクトというのは非常に大切です。交通状況では少し距離があるので、実際にドライバー同士目を合わせてコミュニケーションをとる、ということはなかなかできません。その代わりに車についているツールを使って、コミュニケーションをすることはあります。たとえば、パッシングをして道を譲ってあげたり、クラクションをプッと鳴らして「ありがとう」とお礼をいったり。そういったちょっとした挨拶は日常的に道路でも行われています。

また、通常、生活していて相手に伝えたいことがあると、早めに教えてあげよう、と思います。道路でも同じ。進路変更の方向指示器は早めに出すことも大事です。